

日本地域学会ニューズレター

平成 26 年 no.2

平成 26 年 9 月 3 日

目 次

I. 日本地域学会 第 51 回年次大会 (平成 26 年 10 月 3～5 日) 参加登録について	... 2
II. 平成 26 年度日本地域学会総会(平成 26 年 10 月 4 日) 出席のお願い	... 3
III. 理事会報告 平成 26 年度第 1 回—第 6 回理事会	... 3
IV. 委員会報告	... 6
1. 学会賞選考委員会	
2. 機関誌編集委員会 第 46-47 回機関誌編集委員会	
第 51 回年次大会準備委員会からのお知らせ	
第 51 回年次大会の会場(麗澤大学)案内、交通手段	... 8
麗澤大学キャンパス内マップ	... 9
セッション・総会・シンポジウム会場配置図	... 10
故岡野行秀先生への弔辞と業績・思い出 河野博忠	... 12
『地域学研究』バックナンバー申込書	... 14
正会員入会申込書	... 15

2. 機関誌編集委員会報告

日本地域学会 第46回機関誌編集委員会

日時: 平成26年4月20日(日) 11:00-12:00

場所: 学術総合センター会議室

出席者: 委員: 多和田, 松本, 木南(章), 氷鮑, 加賀屋, 鐘ヶ江, 木南(莉), 酒井, 櫻井, 渋澤, 高橋, 徳永, 藤岡, 細江, 光多, 三友, 小野の各編集委員(ただし浅見副委員長、実積、吉田、近藤の各委員より委任状付託), オブザーバとして萩原理事, 水野谷, 古澤の各幹事, 秋山事務局秘書

議題

- 1) 『地域学研究』第44巻掲載候補論文の選考
レフェリー評価に基づき第44巻の掲載候補論文の選考が行われた。
- 2) 同上機関誌印刷方針
第44巻の発行計画について, 氷鮑揚四郎編集総務より報告があった。
- 3) 同上機関誌書評欄応募図書 of 取扱い
- 4) その他

日本地域学会 第47回機関誌編集委員会

日時: 平成26年7月20日(日) 11:20-12:15

場所: 学術総合センター会議室

出席者: 委員: 多和田, 木南(章), 氷鮑, 加賀屋, 鐘ヶ江, 木南(莉), 酒井, 櫻井, 実積, 渋澤, 高橋, 徳永, 藤岡, 細江, 小野, の各編集委員(ただし浅見, 松本の各副委員長, 戸田, 三友, 吉田, 近藤の各委員より委任状付託), オブザーバとして石橋, 岡村, 河野, 萩原, 原の各理事, 水野谷, 内田, 古澤の各幹事, 秋山事務局秘書

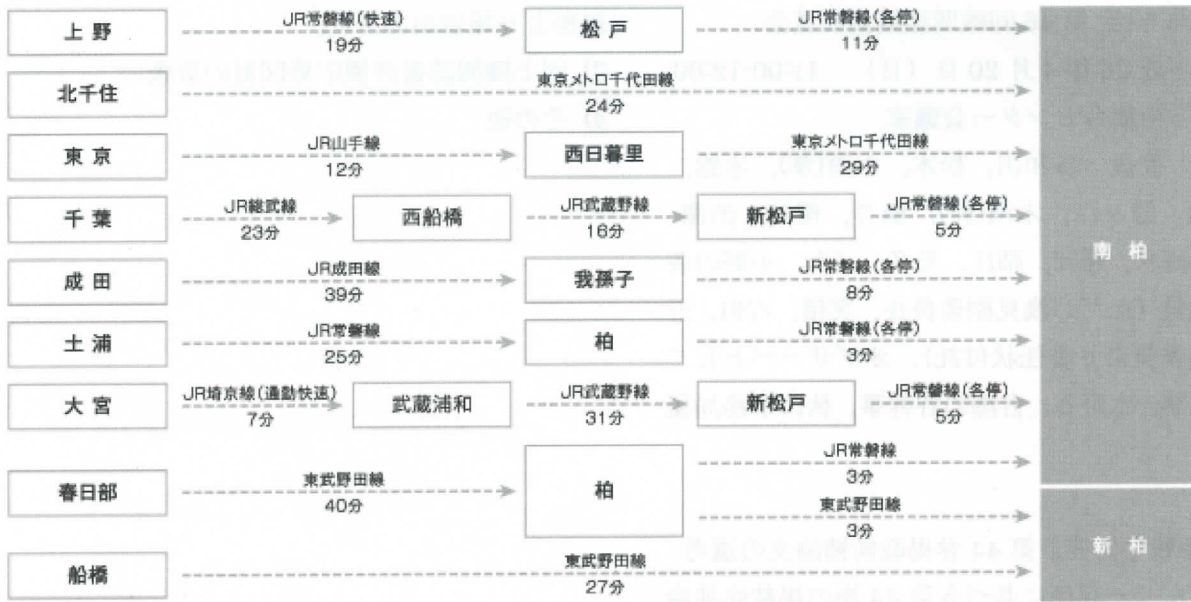
議題

- 1) 『地域学研究』第44巻掲載候補論文の選考
レフェリー評価に基づき第44巻の掲載候補論文の選考が行われた。
- 2) 同上機関誌印刷方針

第44巻の発行計画について, 氷鮑揚四郎編集総務より報告があった。

- 3) 同上機関誌書評欄応募図書 of 取扱い
- 4) その他

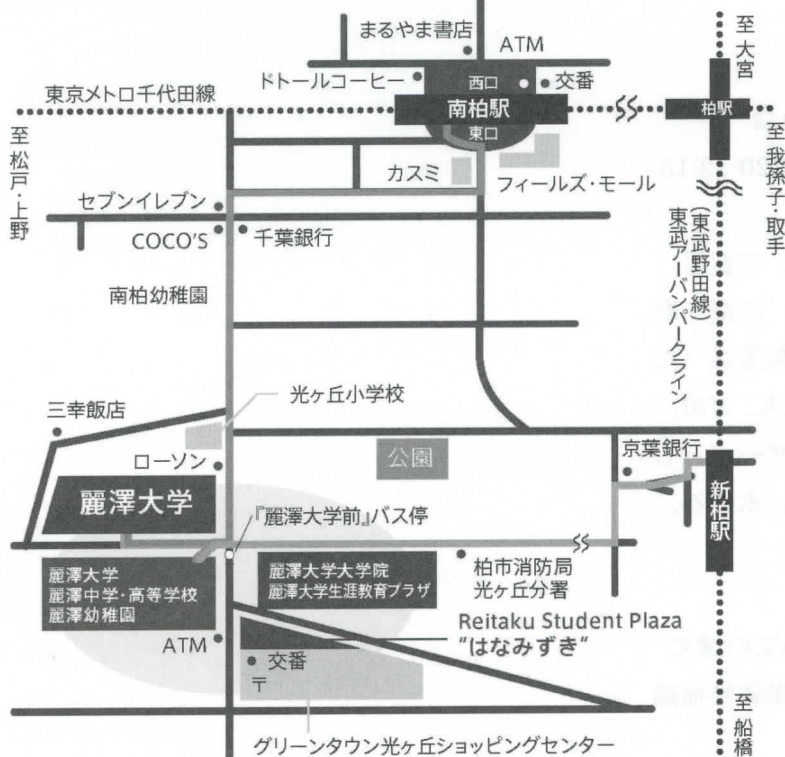
主要駅から南柏駅までのアクセス例



■上野駅よりJR常磐線(快速)乗車→松戸駅にてJR常磐線(各停)柏・我孫子・取手行きに乗り換え南柏駅下車(約35分)。

■東京駅よりJR山手線乗車→西日暮里にて地下鉄千代田線、柏・我孫子・取手行きに乗り換え南柏駅下車(約50分)。

最寄り駅から麗澤大学まで



■南柏駅からは東口より東武バス(1番乗り場)に乗車、「麗澤大学前」で下車(約4分)。

キャンパスマップ



- 01 正門
- 02 校舎「かえて」
- 03 校舎「あすなろ」
- 04 Reitaku Student Plaza「はなみずぎ」
- 05 生涯教育プラザ
- 06 図書館
- 07 研究室 B棟
- 08 学生寮 D棟
- 09 学生会館食堂棟「ひいらぎ」
- 10 小劇場
- 11 研究室 A棟
- 12 部室棟

- 13 総合本館
- 14 廣池千九郎記念講堂・記念館
- 15 貴賓館
- 16 桜並木
- 17 れいたくキャンパスプラザ
- 18 レストラン「まんりょう」
- 18 事業館
- キャンパスストア「ユーカリ」
(株)れいたくサービス
- 19 麗澤中学・高等学校
- 20 麗澤高校生徒寮
- 21 第2体育館

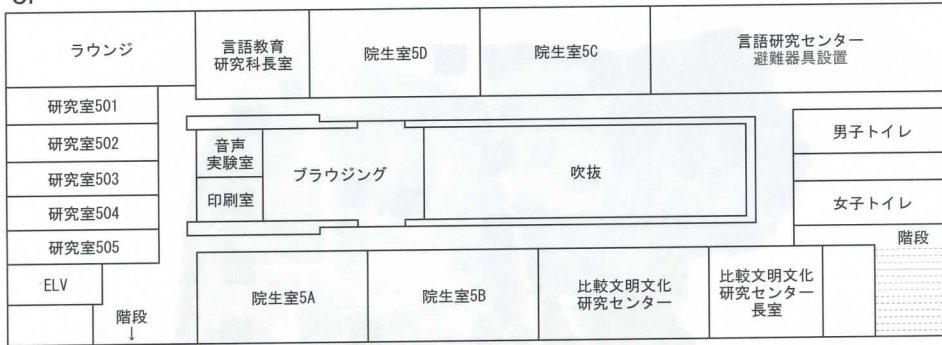
- 22 廣池学園ゴルフコース
- クラブハウス
- 23 第1体育館
- 24 武道館
- 25 中央食堂
- 26 中央集会所
- 27 健康支援センター
- 28 麗澤幼稚園
- 29 研修寮
- 30 研修館
- 31 中央広場
- 32 「さくら」

- 33 東門
- 34 テニスコート
- 35 馬場
- 36 弓道場
- 37 第1グラウンド
- 38 第2グラウンド
- 39 第3グラウンド
- 40 教職員住宅
- 41 バス停(麗澤大学前)
- 42 バス停(広池学園)
- 43 学生寮 A~C棟

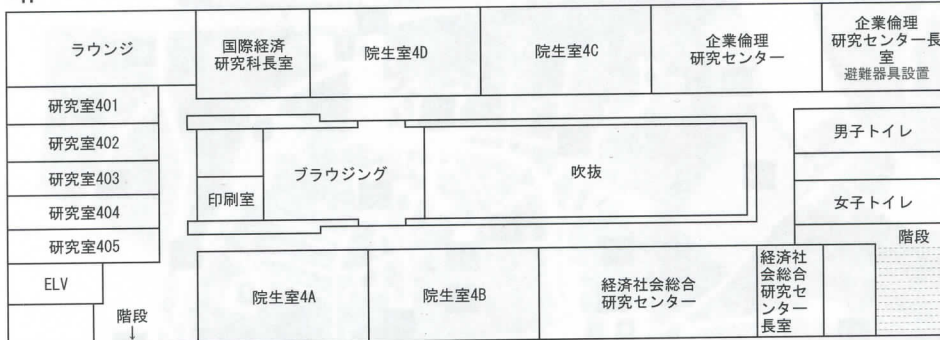
- 3日の会場:41番
- 4-5日の会場:02番
- 懇親会(4日):04番

4. 生涯教育プラザ(LL) (3日セッション会場)

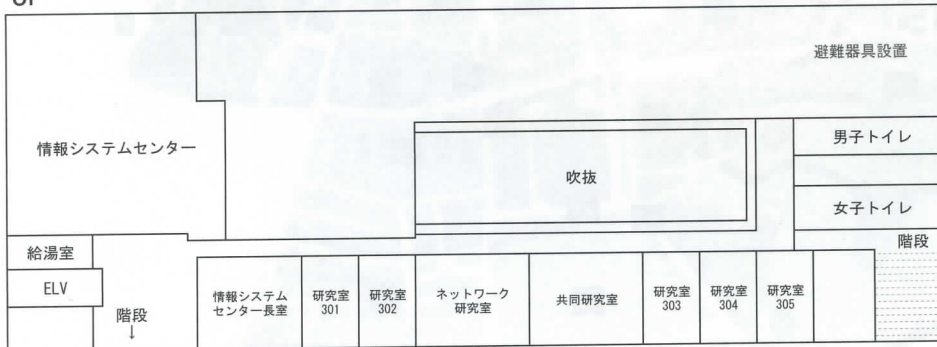
5F



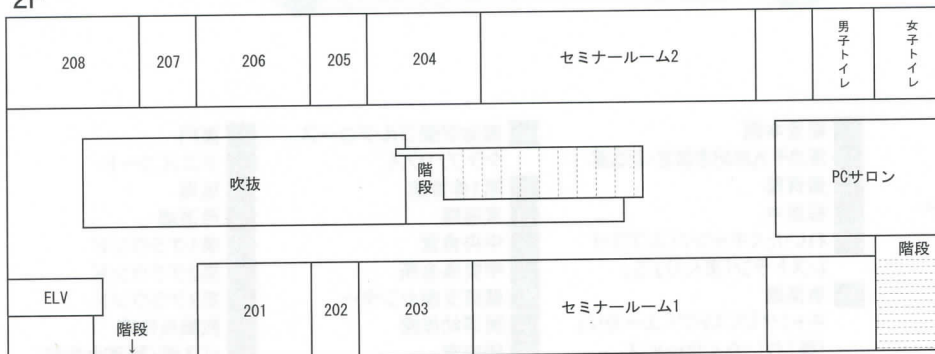
4F



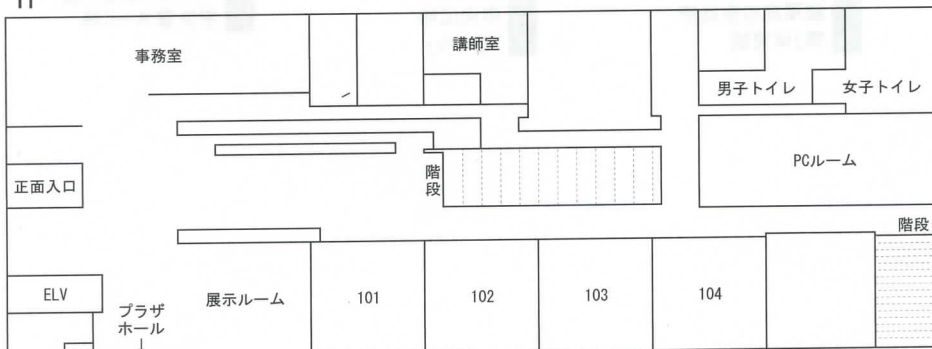
3F



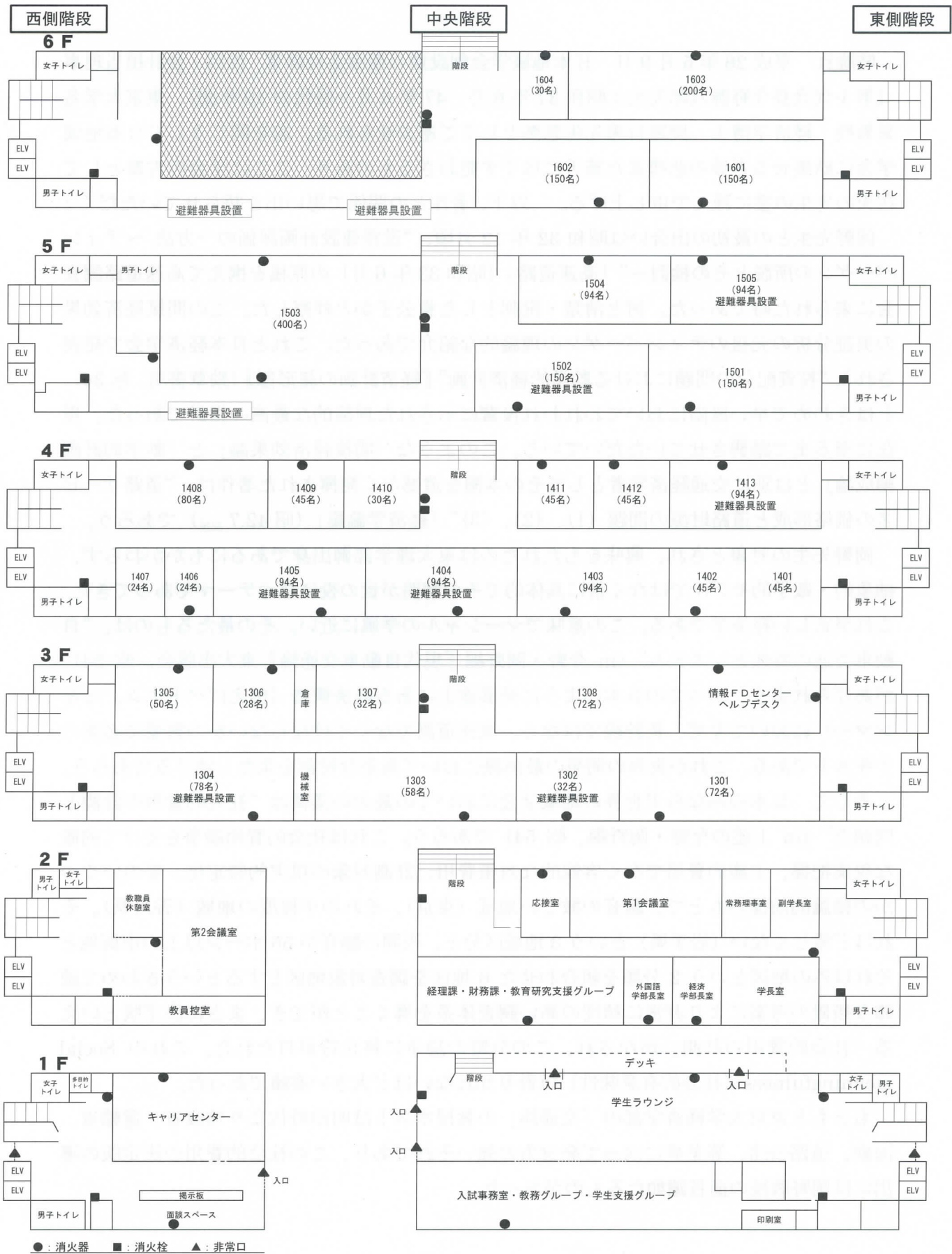
2F



1F



5. 校舎かえで(K) (4・5日セッション、総会、シンポジウム会場)



故岡野行秀先生への弔辞と業績・思い出

時維れ 平成 26 年 5 月 9 日 日本地域学会創設期の理事会付幹事、庶務・会計担当理事〔第 1 代会長今野源八郎先生<昭和 37 年 6 月—47 年 6 月>時代の 10 年間〕、東京大学名誉教授 経済学博士 岡野行秀先生忽然としてご逝去せられる。志を同じうして日本地域学会に結集せる吾等の悲嘆また筆舌に尽くす能わざるものあり ここに学会の古参として在天の先生の霊に謹んで申し上げる。以下、著作との関係で思い出を語らせていただく：

岡野先生との最初の出合いは昭和 32 年 12 月頃、“道路建設計画評価の一方法 ～ティンバーゲンの所説とその検討～”「高速道路」(昭和 33 年 6 月)の原稿を携えて高速道路調査会に来られた時であった。何と清楚・澁刺とした貴公子かと拝察した。この間接経済効果の実証分析の元祖のティンバーゲンの理論的な紹介であった。これと日本経済学会で発表された“投資配分の問題における動学的経済計画”『経済計画の諸形態』(勁草書房、昭 34)とはきわめて早い段階においてわれわれ後輩に示された理論的な最高の指針であった。現在に至るまで踏襲させていただいている。このような「間接経済効果論」と「動学的計画編成論」とは別に交通経済学者としてその本領を遺憾なく発揮された著作は、“道路サービスの価格形成と道路財源の問題 (1)、(2)、(3)”「経済学論集」(昭 42.7_{前後})であろう。

岡野先生の対象とされ、興味をもたれたのは東大理学部御出身であるにもかかわらず、抽象的・数学的モデルではなく常に具体的でその解明が世の役に立つテーマであって来た。これが正しい経済学である。この意味でマーシャルの学風に近い。その最たるものは、“自動車交通の特性とシステム”(in 今野・岡野編『現代自動車交通論』東大出版会、昭 54)があげられよう。かつての日本のように発展途上にある経済構造(例えばベトナム、ミャンマー)においてなぜ、新幹線ではなく、高速道路でなくてはならないかの啓蒙に必須のテキストである。これが世界の開発の最前線において貴重な役割を果たし続けるであろう。

そして 日本のみならず世界の地域学会においての最大の業績は“社会的費用の計測と問題点”(in 上述の今野・岡野編、昭 54)であろう。これは社会的費用論争を受けて的確な現実把握、主観的費用でなく客観的な対策費用、計測対象の現実的特定化、等のいくつかの総論的前提のもとで、騒音の激しい地域(東京)、その中程度の地域(香川県)、それほど激しくない(岩手県)という 3 地域区分と、夜間の騒音が 55 ホーン以上の市街地とそれ以外の地区という 2 分類を組合わせた 6 地区を調査対象地区とするというきわめて適確な措置の考案により非常に精度の高い調査体系を導くことができ、まさに決定版といえる「社会的費用の計測」がなされ、この分野の論争に終止符が打たれた。これの Social meaningfulness (社会的有意味性)は計り知れないほど大きい業績であった。

もともと東京大学経済学部の「交通論」の教授ポストは明治時代より建設省、運輸省、国鉄、道路公団、等業界に向って発言力の強いそれであり、この社会的費用の決定版の導出には岡野教授の面目躍如たるものがあつた。

.....

嗚呼今や先生なし 先生生前の言なお吾等が耳底にあり 先生生前の温容なお吾等が眼前に映えず しかも悲しい哉幽明早くも境を異にして邇今長へに先生の教えを享くる能はざらんとは 先生今やなし 此れを思い彼を顧みれば哀悼の感極まりて殆んどその情を表するの辞を知らず 茲に先生に日本地域学会の最大の功労者たるの称号を贈らんとす 乞う先生の霊 吾等の微意を受け給え 吾等また先生に恥ずるなき研鑽を誓わん 謹みて蕪辞を陳ぶ 在天の先生の霊尚はくは享け給え

平成 26 年 7 月 20 日

日本地域学会第三代会長
筑波大学名誉教授
河野博忠

日本地域学会第十代副会長
専修大学名誉教授
蔵下勝行

『地域学研究』バックナンバー/ 定期講読申込書

宛先: 筑波大学生命環境系水鉋研究室内
〒 305-8572 つくば市天王台 1-1-1
tel +81-298-53-7221 (fax)

日本地域学会事務局 御中

- 日本地域学会機関誌の定期講読を申込ます (16,000 円/ 年)。(PRINT ISSN: 0287-6256)
 下記のとおり, 日本地域学会機関誌のバックナンバーを申込ます。

平成 年 月 日 氏名: 印
所属:
住所:
電話, fax:

記念事業セット販売			※
フルセット:『地域学会年報(1-6号)』+『地域学研究(第1-40巻)』		450,000円	
セミセット:『地域学研究(第1-40巻)』		400,000円	
		小計	円
『地域学会年報』(第1-6号)			
1号 10,300円		2号 10,300円	
4号 10,300円		5号 10,300円	
3号 10,300円		6号 10,300円	
『地域学研究』(第1-19巻)			
第1巻 8,000円		第2巻 8,000円	
第4巻 8,000円		第5巻 8,000円	
第7巻 8,000円		第8巻 8,000円	
第10巻 8,000円		第11巻 10,000円	
第13巻 8,000円		第14巻 8,000円	
第16巻 8,000円		第17巻 10,000円	
第19巻 9,400円		第3巻 8,000円	
		第6巻 8,000円	
		第9巻 8,000円	
		第12巻 10,000円	
		第15巻 10,000円	
		第18巻 10,000円	
『地域学研究』(第20-28巻) no.1,no.2			
第20巻 no.1 9,000円		第20巻 no.2 3,500円	
第21巻 no.2 3,500円		第22巻 no.1 10,000円	
第23巻 no.1 10,000円		第23巻 no.2 3,500円	
第24巻 no.2 3,500円		第25巻 no.1 10,000円	
第26巻 no.1 10,000円		第26巻 no.2 3,500円	
第27巻 no.2 3,500円		第28巻 no.1 10,000円	
		第21巻 no.1 10,000円	
		第22巻 no.2 3,500円	
		第24巻 no.1 10,000円	
		第25巻 no.2 3,500円	
		第27巻 no.1 10,000円	
		第28巻 no.2 3,500円	
『地域学研究』(第29巻-)no.1,no.2,no.3			
第29巻 no.1 7,000円		第29巻 no.2 3,500円	
第30巻 no.1 7,000円		第30巻 no.2 3,500円	
第31巻 no.1 7,000円		第31巻 no.2 3,500円	
第32巻 no.1 7,000円		第32巻 no.2 3,500円	
第33巻 no.1 7,000円		第33巻 no.2 3,500円	
第34巻 no.1 7,000円		第34巻 no.2 3,500円	
		第29巻 no.3 7,000円	
		第30巻 no.3 7,000円	
		第31巻 no.3 7,000円	
		第32巻 no.3 7,000円	
		第33巻 no.3 7,000円	
		第34巻 no.3 7,000円	
『地域学研究』(第35巻-)Iボリューム4冊一括販売 16,000円; 8,000円/冊			
第35巻 no.1	第35巻 no.2	第35巻 no.3	第35巻 no.4
第36巻 no.1	第36巻 no.2	第36巻 no.3	第36巻 no.4
第37巻 no.1	第37巻 no.2	第37巻 no.3	第37巻 no.4
第38巻 no.1	第38巻 no.2	第38巻 no.3	第38巻 no.4
第39巻 no.1	第39巻 no.2	第39巻 no.3	第39巻 no.4
第40巻 no.1	第40巻 no.2	第40巻 no.3	第40巻 no.4
第41巻 no.1	第41巻 no.2	第41巻 no.3	第41巻 no.4
第42巻 no.1	第42巻 no.2	第42巻 no.3	第42巻 no.4
第43巻 no.1	第43巻 no.2	第43巻 no.3	第43巻 no.4

購入総額合計 円

※ 申込該当箇所には○をする。□にはチェックする。

機関購入の場合は, 氏名, 所属に見積り, 納品, 請求書宛名機関名等を記入, 責任者押印 以上

平成 26 年 4 月 1 日改定

日本地域学会 正会員 入会申込書

20 年 月 日

日本地域学会
会長 氷鮑 揚四郎 殿

日本地域学会 会則第5条に定める正会員として下記の通り入会を申し込みます。

氏名： 印

記

ふりがな			年 月 日生	歳	※男・女
氏名			同英文 (last name, first name)		
所属先	機関名			同英文	
		(年 月より)			
	所属			同英文	
	職名			同英文	
	所在地	〒		同英文	
		電話： ()		fax: ()	
e-mail					
自宅	住所	〒 配送希望先 ※勤務先・自宅		同英文	
		電話： ()		fax: ()	
	e-mail				
学歴	年 月入学				
	年 月※卒業・修了・満期退学				
職歴	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
専門分野	専攻：			学位：	(大学)
	<i>Regional Science Association International (RSAI)</i> の研究領域分類 (複数回答可, 入会案内参照)				
	I. ISSUE ORIENTATION		II. THEORETICAL/METHOD-LOGICAL ORIENTATION		
	III. MODE OF ANALYSIS		IV. REGIONAL FOCUS		
所属他学会					
紹介者 (会員に限る)					印

以上 (※は該当項目に○をする)

事務局記入欄	入会承認	年 月 日 第 回理事会	退会承認	年 月 日 第 回理事会
--------	------	--------------	------	--------------

入会様式-1 (2014年8月12日改定)

